



地域の中でこころつながる児童館を

埼玉 YMCA 指定管理事業

所沢市立こぼと児童館 館長 櫻井 徹

埼玉YMCAが所沢市立こぼと児童館指定管理者として、今年で二期10年目(2015年4月開始)を迎えている。所沢市内11館あるうちの二番目(昭和55年)に建てられたこぼと児童館は、西側には小手指公園の桜やイチョウや金木犀、北側には砂川堀の枝垂桜が見える自然豊かな場所に位置している。

児童館は児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設であり、「児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情緒を豊かにすることを目的とする児童福祉施設」とある。2018年に児童館ガイドラインが改正され、拠点性、多機能性、地域性の三点が整理され、社会的責任が付加された。また、「遊び」に関しては児童の権利に関する条約第31条の趣旨が加筆され、児童福祉法改正に伴い子どもの権利に関する条約の精神にのっとり、子どもの意見の尊重、子どもの最善の利益の優先等が示された。

所沢市内の児童館は一般来館事業、地域子育て支援拠点事業、放課後児童健全育成事業の三つの事業を中心に行っている。こぼと児童館でも、一般来館事業としてこどもまつりやスポーツ大会、工作教室などの行事を実施。未就学児、未就園児とその保護者対象の歯科衛生等の講習会や年齢別のつどい事業、製作やおはなし会、おしゃべり&ティータイムなどのひろば事業、発育・発達についての相談事業といった地域子育て支援拠点事業も行っている。放課後児童健全育成事業(生活クラブ)では所沢市立北中小学校の児童約60名を受入れ、地域の子育て子育て拠点として小中学校、社会福祉協議会、こども家庭センターなど関係機関との情報交換会も開催している。

YMCAはそのミッション性から隣人を自分のように愛する、互いを認め合い尊重する等イエス・キリストに示された愛と奉仕の精神により運営されている。私は児童館を利用される方への心構えとして二つの聖句を意識している。一つはヘブル人への手紙13章2節「旅人をもてなすことを忘れてはならない」、もう一つはルカによる福音書第10章30節～37節「良きサマリア人のたとえ」である。ルカ書は祭司やレビ人など何人かの登場人物がいるが、私はその中の「宿屋の主人」として児童館を訪れる人々を迎える気持ちでいたいと思っている。初めての方や毎日のように遊びに来る児童、久しぶりの親子、悩みを抱えた小学生、登校渋りの中学生、子育て悩み中のお母さん。児童館を利用する人の心は人それぞれ。「おかえりなさい」「いらっしやい」「こんにちは」と、こちらの声かけもいろいろ変えながら、児童館利用を通してYMCAのスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」を実践していきたい。

4月からは三期目の5年目がスタートする。10年間の取組みに加え、中高生へのアプローチとして、生命の大切さを伝える赤ちゃんふれあい事業、総合型選抜入試ボランティア受入れ、部活動週末支援にも力を入れ、今後一層の「地域とつながる児童館」を展開していくことにしている。



さくらい とおる
埼玉 YMCA 主事



デジタルと上手につきあおう②

全国 YMCA 発達支援事業部会長

前号では、インターネット・ゲーム障害が2019年から認められた新しい疾病であることや、依存のメカニズムについてお話をしました。ゲームやインターネットばかりしてしまう原因は様々ですが、ストレスフルな現実の世界から距離を置き、自分が安心して過ごせる場がネット空間になっているケースが少なくありません。そのような状況で、一方的に大人側が使用を禁止する行為は、子どもたちを追い詰めてしまう危険性もありますが、かといって長時間デジタルに夢中になっている姿をただ見守るだけでは気が気ではありません。

シロクマのことは考えないように

心理学では「シロクマ実験」というものがあります。シロクマの映像を見せた後、Aグループには、「シロクマのことを忘れないように」、Bグループには「シロクマのことは考えても考えなくても良い」、Cグループには「シロクマのことは考えないように」と指示すると、Cグループが一番シロクマの映像を覚えていたというものです。つまり、「ゲームやインターネットをするな」と言うと、むしろ頭から離れなくなるのです。そのような中で、おすすめは「別の活動に置き換える」ことです。その子にとって関心のありそうな内容で、別の体験活動に導いていったらどうでしょう。マンガの舞台となった聖地巡礼をする、美味しいものを食べに出かけるのもいいですね。思春期で親とは一緒に過ごしたくなければ、親戚など別の誰かに頼んでみるのもいいかもしれません。

野外活動がもたらす力

一昨年より、YMCAでは依存症の専門病院と協働したキャンプを実施しています。参加者は依存症と診断され、その病院に通う患者（中高生）です。一日の始まりと、終わりは認知行動療法の時間があり、午後は回復者の体験談や、学びの時間があります。それ以外の時間は、YMCAキャンプでよく行う野外炊事、レクリエーション、キャンプファイヤーなどをします。私たちは、子どもたちの普段の様子は分からないのですが、病院の先生方の話を聞くと、あんな表情は見たことがないと、その変化を喜んでくださっています。キャンプ中はデジタル機器が持ち込めないのですが、そこに同じ悩みをもつ仲間がいて、自分を理解しようと寄り添うボランティアの大学生がいて、自然の中で過ごす非日常空間は、子どもたちの変わろうとする気持ちを、そっと押ししてくれる力になるのだらうと思います。

包みこめる大人の存在

つい私たちは、子どもの行動をどう変容させるかということばかりを考えてしまいがちですが、本当に大切なのは、私たち大人がどのような立ち位置に関わるかということだと思います。川上康則先生（養護学校主任教諭）は、「包みこめる大人」という表現を使い、そのような人は、①(子どもの)内面の葛藤を理解し、②気持ちを言語化し、③大人の示す落ち着いた状態に上手に巻き込みながら、④時間をかけて待つ姿勢を保つ、と言われました。「この人と一緒ならやってみようかな」と思ってもらえるような信頼できる大人の存在が、その子の内面から沸き起こる力を起こさせるのでしょうか。言うは易く行うは難しではありますが、そのような「大人」を目指していきたいものです。

YMCAでは、2022年、2023年にスポーツ庁と文科省の公募授業を受託し、専門家とともに「デジタルとの上手なつきあい」プロジェクトを進めてきました。子どもたちにも読みやすい報告書としてデジタルマンガを作成しましたので、是非ご覧ください。

https://www.ymcajapan.org/about/vision2030/degital_p/



Highlights of Winter - Spring Term

早く泳がなくても大丈夫 メンバーズチャレンジ [12/22]

水泳クラスやスペシャルサポート、マスターズサークル等の参加者43名がエントリーして、メンバーズチャレンジ<水泳記録会>が開かれました。日頃の練習成果を発揮し、年少3歳から81歳まで幅広く楽しく交流する機会となりました。



Y's×SDGs Youth Action2024 地域と交わる活動を [12/26]

YMCAとワイズメンズクラブが支援してユースによる地域課題解決への働きを共に推進する「小さなアトリエプロジェクト」の7回目の活動が実施されました。参加した小学生はボランティア講師から習字の指導を受け、中高生には仲間と過ごす安心な居場所が提供されました。



社会の仕事と責任を知る 中学生職場体験受入 [1/22~24]

中学生社会体験事業として所沢市立向陽中学校の生徒4人が、所沢センターで職場体験学習を行いました。水泳クラス補助や受付事務、学童保育のお迎えや幼稚園 Kids Academyの子どもたちとの触れ合い等、多彩な仕事に触れ、「貴重な体験ができた」との感想が寄せられました。



Big Smile スキーキャンプ 銀世界を楽しもう! [1/4~5]

新潟県シャトー塩澤スキー場でクローバー、トースター、アップのプログラムを対象に、ビッグスマイルスキーキャンプを実施しました。日常を離れた環境での活動が一人ひとりの成長を育みながら、仲間と楽しい時間を過ごすことができました。



ワイズ と YMCA

川越ワイズメンズクラブが創立 25 周年

ニコニコ 25 年
笑顔で
未来へ



埼玉 YMCA の働きを物心両面から支援くださっているワイズメンズクラブ。その一つである川越ワイズメンズクラブが創立 25 周年を迎え、去る 12 月 1 日に川越市内のレストランで記念例会を開催しました。

川越クラブは 1988 年 10 月 24 日に 18 名の会員でチャーターされ、25 年間の歩みを振り返り、記念例会の開催とあわせて記念誌も発行されました。

所沢クラブ会長の澁谷弘祐牧師による聖書朗読と祈りで開会した記念例会には、北海道から兵庫県までの遠方の方々を含めて 51 名が参集し、国内外からは多くのビデオメッセージが寄せられました。埼玉 YMCA から川越センター職員 3 名が参加、日頃から近く活動をともにしている川越ワイズメンズクラブの歴史や想いに触れることができ、新たな絆が深められました。



February 26th

いじめは一人で解決できないから

YMCA ピンクシャツデーの取組み

文科省によると、昨年度に学校で把握されたいじめは 73 万件と、コロナ後増加し続けて過去最多となり、自殺等重大事態は昨年度比 42% の大幅な増加と報告されています。いじめを自分のこととして一緒に考えていこうと 2017 年から始まったピンクシャツデー。差別や偏見、分断のない、誰もが安心して暮らせる社会を創ることを目指して、今年 2 月も月間を通しての取組みを行っています。

所沢センターでは、みんなの「あたたかい言葉」でハートをいっぱいにしよう！のコーナーを YMCA キッズクラブ（学童保育）の子どもたちが設置、平等で平和な世界を願って「あたたかい言葉（言われるとホッとする、安心する言葉や嬉しくなる言葉）」をハート型の紙に記入し、模造紙のハート枠に貼り付けていこう、来館者に呼びかけました。

埼玉 YMCA に集うそれぞれが、思いおもいにピンク色の洋服や小物を身につけて過ごす一か月、様々なプログラムの中で、ともに考え伝え合いながら、ピンクシャツデーに取り組みます。



VOICE OF YOUTH ユースに聞こう！

もちだ さゆり
持田 冴理さん

もっちーリーダー・埼玉 YMCA 協力会員



学生時代に埼玉 YMCA でボランティアリーダーをしていた頃から 10 年が経とうとしています。母が昔から川越センターで受付等のお手伝いをしていたことや幼少期に YMCA のイベントに参加した経験などから、YMCA の存在は頭の片隅にありました。大学入学の春、東日本大震災があって入学式もなくなり、行動も制限される中で何かできることはないかと、川越センターの扉をたたきました。

自分でも驚くほどたくさんのプログラムに参加させていただき、そのすべてが濃い経験だった中でも、やはり当時の「Big Smile」キャンプで毎年、子どもたちと向き合うのに必死だったことが思い起こされます。それぞれ様々な背景を抱えた子どもたちが 2 泊 3 日、親元を離れて集団で生活する、今思えばとてもハードルの高いプログラムです。正直、どうしたらいいかわからなかったりしんどかったりすることもありましたが、当時のディレクターやリーダーたちみんな支え合い、子どもたちと一緒に乗り越えていったのがとても心に残っています。私にとって YMCA は縁をつなぐ場所、多感な時期に出会って共に過ごしたリーダー仲間とは今も見えない絆を感じています。また、ボランティアリーダーとして参加することで私自身も YMCA に受け入れられ、居場所をもらったことは、自分の人生の財産になっていると思います。リーダーを卒業してからあまり関わりをもてずにいた私を忘れないでくださったことにも驚きました。これからも YMCA には、変わらず誰かの居場所となり、いつだって誰かの隣にいる存在であり続けてほしいです。

現在は教職に就いていますが、子どもと話すことや前に立って説明したり、大人同士で協力したり意見を言い合ったり、周りを見て動くといった場面で、単純で当たり前かもしれないけれど大切なこと、その根幹を YMCA で自然と学ぶことができました。現場にいる教員としては、本当に悔しいことに学校を居場所にできない児童が多くいると感じています。そうした中で、YMCA の働きのような社会教育の存在はとても大きい役割を果たすと考えます。学校教育と社会教育が両輪となって、家庭や地域を支える世界になってほしいと願っています。

I / N / F / O / R / M / A / T / I / O / N

早天祈祷会

毎月1日(7:00~7:30) 毎回、奨励者を迎えオンラインにて開催。月初めの朝、共に祈りの時をもちましょう。
 ・問合せ：本部事務局 Tel 04-2939-5051

Kids Academy・Preschool 2025年度新入園児募集

YMCAの多彩な専門性を取り入れた総合保育(英語、野外、プール・体操、音楽、アート他)のもと、お子様(2~5歳児対象)の心身を豊かに育みます。
 ・問合せ：所沢センター Tel 04-2939-5051

YMCA 海外交流プログラム DYNAMIC SUMMER2025

北米のYMCAサマーキャンプ・フィールドトリップ・ホームステイなどの様々な場面で、多くの文化・言語・人とふれあいながら、新たな自分自身を見つめ、共に成長するプログラムです。

日程：2025年6月下旬~8月中旬の間・全8コース
 期間：9日間~18日間(コースにより異なる)
 行先：北米(ハワイ・カリフォルニア・オレゴン・ニューヨーク・ニューハンプシャー・バンクーバー)

対象：小学生(3年生~)・中学生・高校生
 (コースにより異なる)

プログラム企画：東京YMCA・埼玉YMCA・横浜YMCA・名古屋YMCA

旅行企画実施：JTB

募集要項・説明会についてはこちらへ↓



埼玉 YMCA のプログラム

◆◆2025年度プログラム継続手続き受付中◆◆

新年度のプログラムの継続等のお手続きは、二次元コードより必要事項を記入し、受付窓口にてお願いいたします。



◆◆春休みプログラムガイド◆◆

◎水泳・体操・英語のプログラム参加者募集!

Swimming (①スイム/②なかよし/③なかよし/④げんき/⑤スイム)

Combination(体操と水泳)

Gymnastics(アクロバティックミニ)

【日程・6日間】3/27(木)~4/2(水) ※うち3/30(日)はお休み

Swimming(プールで遊ぼう!) 【日程】3/24(月)~3/25(火)

Swimming(プライベート)【日程】3/24(月)・3/25(火)・3/26(水)

Swimming(はじめて/クラゲ強化/タツノオトシゴ・フグ強化)

【日程】3/24(月)~3/26(水)

English Spring School(テーマ: human body 人のからだ)

【日程】3/27(木)~3/29(土) 英語で考え、学び、活動する3日間。工作や実験、ゲームやスポーツを屋内外で楽しむプログラムです。

公益財団法人埼玉 YMCA
 新代表理事、新総主事就任

2025年2月1日より、埼玉YMCA代表理事として吉野勝三郎(前埼玉YMCA評議員会会長)、代表理事・総主事に太田聡が就任いたしました。新体制でさらなる働きに努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

感謝

皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます

順不同・敬称略

■協力会員(2024.12~)

【新入会】佐々木英治・佐々木仁子・村上祐介・並木真・鴨下純久・宮田康男・光永尚生・中村隆・井上ゆたか
 【継続】(2024.12~) 浅見千枝・山崎純子・持田喜雄・持田佳子・田中良一・並木実・栗原道子・笈川光郎・秋山翹一・三上英一・吉田公代・錦古里太一・小林勉

■賛助会

ライオン株式会社・株式会社武蔵野銀行・株式会社丸広百貨店・武州ガス株式会社・株式会社伊藤園新座支店

■寄附・募金(2024.12~)

【YMCAの働きのために】利根川恵子・田中盛一・フーラン ムンフダヴァー・家山光雄
 【国際協力募金】渡辺修一・田中良一・阪田震一・黒川恵理子・太田顕・持田二郎・伊藤澄夫・小林明彦・小原武夫・宮地輝子・浅見千枝・浜田房夫・内藤洋子・宇津木喜志子・各センター窓口募金箱

■物品寄附(2024.12~)

田口新一郎・塚田孝子・和田きくみ・奥山忠子・大和裕子・酒井エリコ・桑田温子・山口千代子・高橋のどか・宇津木喜志子・高橋稔子・遠藤友子・太田君子・梅沢凰

YMCA Support the Y 協力会員ご入会のご案内

埼玉YMCAの諸活動、ボランティア育成を支えてくださる協力会員を広く募っています。

会費は、国際協力・交流、自然災害支援活動、青少年育成、いじめ防止啓発等の社会課題や地域活動など、埼玉YMCAが取り組むポジティブネットのある社会づくりに用いられます。18歳以上の方ならどなたでもご入会いただけます。

お申込みは下記 URL またはこちらから 
<https://forms.gle/SXS2XQyDBXkqkrnx7>



埼玉 YMCA の使命

私たち埼玉YMCAは、イエス・キリストによって示される愛と奉仕の教えに基づき、すべての人々の全人的な成長を願い、地域に根ざし、以下の働きを行います。▽ボランティア 私たちは、人の痛みを感じとり、隣人となって地域社会で働くことを喜びとします。▽生涯の学びの場 私たちは、生涯をとらして共に学ぶことの喜びにふれ、成長することのできる実践の場を開拓します。▽環境 私たちは、あらゆる自然とかけがえのないいのちを尊び、守り育てる生き方をします。▽平和と国際協力 私たちは、世界中の人々が互いを認め合い尊重し、共に平和な世界を築く働きを進めます。▽支え合う心 私たちは、人々の心と心の交流をとらして、未来を信じてゆける豊かな地域社会を築きます。